

施策評価シート（平成29年度実績評価）

◎ 施策の基本情報

総合計画 中期プラン	政策No.	4-2	政策名	参画・協働のまちづくり	政策の 目指す姿	お互いを尊重し、持っている特性と能力を活かし合い、まちづくりを行っています	施策 主管課	地域づくり課	施策主管 課長名	中村光一
	施策No.	3	施策名	男女共同参画の浸透	政策の 目指す姿	男女が社会の対等なパートナーとしてお互いを尊重しています	関係課名			
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画への理解や各種審議会委員等に占める女性の割合が不十分です。 男女の平等が図られていると感じる市民の割合が4割程度(市民アンケート)にとどまっています。 地域における男女共同参画の円滑な推進のために、男女を問わず、男女共同参画推進員の人材確保が必要になっていきます。 								

◎ 前年度の評価の振り返り

<p>(前年度評価時の今後の方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修や講演会のテーマによってターゲットは異なるものの、より多くの方に興味を持っていただけるような講師の人選、開催日、時間など企画や周知の方法を工夫する。 LGBT(性的マイノリティー)の理解促進のための市民対象の講演会や職員研修を開催する。 今一度「審議会等の設置及び運営に関するガイドライン」を庁内周知し、女性委員の割合を高める意識を醸成する。 <p>(反映状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修や講演会については、開催日や時間を考慮して開催した。 LGBTの理解促進のための市民対象の講演会は、市民の意識が時期尚早として開催しなかった。次年度は相談センターの人権講演会でLGBTをテーマとして開催するので地域づくり課では開催せず、職員研修を開催する。 審議会委員の女性割合を高めるのは、構成する団体の事情等があるため難しい状況である。

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

<p>(1)男女共同参画の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画に関する情報提供、相談機能の充実 <ul style="list-style-type: none"> 市広報における情報提供、男女共同参画に関する窓口の設置 ミニライブラリーの設置 法律に基づく育児休暇、介護休暇の取得推進 <ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画学習講座、DV防止について考えるセミナー、出前講座、サポーター養成講座等参加支援 審議会等への女性の登用の推進 <ul style="list-style-type: none"> 審議会等ガイドラインの周知 花巻市次世代育成支援・女性活躍特定事業主行動計画推進のため、職員のニーズに即した次世代育成支援対策及び女性の職業生活における活躍の推進に取り組んだ。 市民・企業等を対象とした意識啓発の講座や講演会・ワークショップ等の開催 LGBT(性的マイノリティー)の理解の促進 <ul style="list-style-type: none"> 職員研修を実施

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値 区分	H26	H27	H28	H29	H30	H31
職場や学校、地域など身のまわりで男女の平等が図られていると感じる市民の割合(A-14)	市民が日常生活において、男女の平等が図られていると感じている割合を測る指標として設定する。	出典:市民アンケート(毎年4月実施) 問:あなたは職場や学校、地域など、あなたの身のまわりで男女の平等が図られていると思いますか? (1)そう思う (2)どちらかというと思う (3)そう思わない (4)どちらかというと思う (5)わからない 上記のうち(1)(2)と答えた市民の割合	%	目標値	47.0	48.5	50.0	50.0	50.0	50.0
				実績値	43.8	43.5	46.0	46.1		
審議会等委員に占める女性の割合	市政に関する市民の意見を反映することなどを目的に設置される審議会等に、女性がどれくらい参画しているかを測る指標	法律または条令により設置された附属機関及び法律、条令の規定に基づかず、市政に関する市民の意見を反映すること等を目的として要綱等により設置された私的諮問機関の毎年4月1日時点での女性の占める割合を算出【人事課】	%	目標値	30.0	32.5	35.0	35.0	35.0	35.0
				実績値	29.2	31.2	29.4	28.1		

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
C	<ul style="list-style-type: none"> ■成果指標「職場や学校、地域など身のまわりで男女の平等が図られていると感じる市民の割合」・・・【達成度 b】 男女共同参画に係る講座等の開催及び広報紙等による情報提供を行っているが、目標値に達せず横ばいで推移している。各種団体や職場での状況が改善されていないためと考えられる。 ■成果指標「審議会委員等に占める女性の割合」・・・【達成度 c】 庁内における審議会等にかかる女性委員の登用率の目標を「35%」と掲げてきているものの、審議会等の委員構成に条例等で委員を職指定する規定があることや登用する分野に女性の専門家が少なく、団体推薦の場合に団体が推薦し得るポストに女性が就任していないことなどから委員推薦が男性に偏りがちであることが目標値に届かない要因であると考えられる。

4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度		成果
			対象 直結度	意図 直結度	
1-1	男女共同参画推進事業	地域づくり課	一致	直結	C
	意識啓発講座として、学習講座、DV防止セミナー、出前講座、職員研修、女性のつどい(共催)、サポーター養成講座参加支援を実施(学習講座3回40人、セミナー1回39人、出前講座3回、職員研修4回159人、つどい1回94人、サポーター認定4人)				
1-2	男女共同参画推進事業		一致	直結	C
	広報等による情報の提供(広報はなまき、市HP掲載回数35回)				
1-3	男女共同参画推進事業		一致	間接・補完	C
	基本計画に関する施策の基本的事項や重要事項を調査審議する男女共同参画審議会の開催(1回)				
1-4	男女共同参画推進事業		一致	直結	C
	男女共同参画社会の実現に向けた活動を推進する花巻市地域婦人団体協議会への補助金交付(補助額 700千円)				

5 施策を構成する事務事業の検証

<p>①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか</p> <p>・なし</p> <p>(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)</p> <p>・男女共同参画について市民への周知及び意識啓発を図るため、講座やワークショップ等の開催、並びに広報紙等による情報提供を工夫しながら継続して実施する。</p> <p>(新たに取り組むべき事業はないか)</p> <p>・なし</p>
--

6 施策の総合的な評価

<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民向けの学習講座や講演会への参加者(若い世代、特に男性)が少ないことから、開催に関する工夫が必要である。 地域に密着した男女共同参画推進の要である推進員の人材育成が必要である。 LGBT(性的マイノリティー)の理解の促進が必要である。 審議会委員等に占める女性の割合が伸び悩んでいるため、対策が必要である。 <p>(今後の方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修や講演会は、引き続きより多くの方に興味を持っていただけるような講師の人選、開催日、時間など企画や周知の方法を工夫する。 地域の方に県の男女共同参画サポーター養成講座を積極的に受講していただくよう働きかけ、受講した方に推進員をお願いする。 LGBT(性的マイノリティー)の理解促進のための職員研修及び市民向けのセミナーを開催する。 「審議会等の設置及び運営に関するガイドライン」を庁内周知し、女性を登用できる可能性のある団体に対し女性委員の選出を依頼する。
--